弊社サービス「グリーンチャネル」及び これまでの支援事例についてご紹介

グリーンチャネルについて

弊社マイツグループは、上海市政府通関当局と連携する日系唯一の企業。
独自サービス「グリーンチャネル」を構築し、各企業の貿易ビジネスをサポート中。

▼スムーズな貿易ビジネスが実現

弊社のグリーンチャンネル活用により、円滑な貿易事業が実現し売上拡大。
また通関前の個別事前調査や緊急トラブル時の迅速な対応が可能。

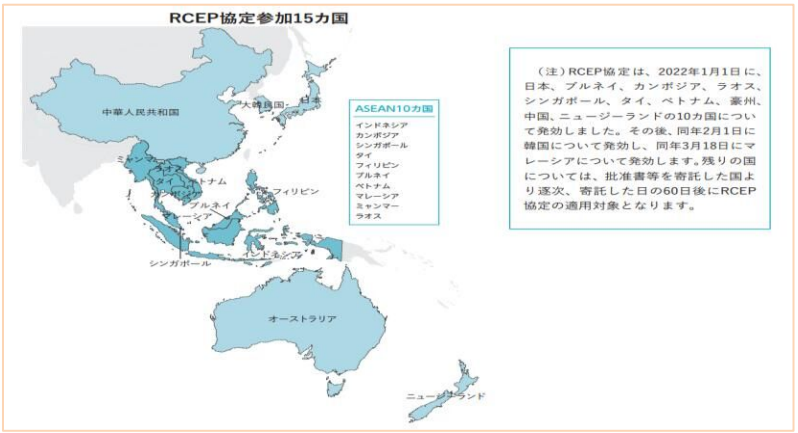
▼RCEP加盟、発効による販路拡大

優遇関税を活用し、日中間の貿易事業拡大を考える企業へ支援強化中。
新たに中国発の貿易ビジネスを検討する企業へも、個別支援を実施。

安価な貿易コンサル会員制プランを準備し、
現在多くの企業にご利用いただいている。







グリーンチャネルを活用した支援事例

▼支援事例１　大手食品メーカーのケース

新規設備の中国搬入へ向けて、業者経由で準備を進めていたが、手続きが明確とならず、また本当に輸入可能なのかどうかが不明のままで、大変困っていた

弊社ルートを活用し、当局と直接確認。必要資料を準備、関連法規など詳細調整を経て、確実に中国輸入できることを事前確定。政府許可証も取得できた

これまでの経緯と対応

工場生産ライン立ち上げのため、日本から必要設備を搬入したい

提携する運送業者へ聞いたが話しが進まず、弊社へ調査依頼

弊社にて設備・生産工程に関する情報を頂戴し、当局との折衝開始

当局との調整と並行して関連法規など政府内部ルールなどを確認

輸入に必要な情報、提出資料などを確定。政府発行の輸入許可証を取得

無事に設備搬入を経て、現在は量産開始している

グリーンチャネルを活用した支援事例

▼支援事例２　大手化学メーカーのケース

新規商品のHSコードが不明確な状態で、通関当局の考えが分からず、大幅に輸入スケジュールが遅れていた

→ 弊社ルートにて各当局と直接折衝。HSコードを事前確定させた上で、許可証取得に成功、迅速な輸入ができた

※HSコードとは、国際条約で定められている輸出入の統一システム番号。

これまでの経緯と対応

新規商品を日本から中国へ輸出し、中国内での販売を検討

→ 通関手続きなど事前対応を連携する物流会社へ依頼

→ 新商品のため当局の考えが掴めず、HSコードを確定できなかった

→ 物流会社より弊社へ連絡。直ちに状況確認し、支援スタート

→ 必要情報を共有受け、当局と折衝開始。該当HSコードを確定

→ 通常の手続きにより問題無く通関OK、中国販売スタート

グリーンチャネルを活用した支援事例

▼支援事例３　食品メーカーのケース

中国へ輸入・販売するための商品パッケージ＆貼付けラベルについて、中国当局の承認が得られるかどうかが分からず、事前に正確な情報を得ておきたい。

弊社経由にて当局部門と直接確認。パッケージの中文表記、貼付けラベルの表示基準など詳細を確認し、問題無く通関できる体制を整えた。

これまでの経緯と対応

新商品の中国輸入にあたり、当局承認のパッケージを事前確認すべく弊社へ相談

関連情報を頂戴し、当局と調整開始。修正箇所を確認、提示

中文表記、表示基準などを当局要求へ修正。問題無いか再提示

当局との再調整を経て、通関可能であると確認。必要書類なども確定

無事に通関を終え、販売開始、現在は完売し、再輸入手続きを進めている

グリーンチャネルを活用した支援事例

▼支援事例４　機械部品メーカーのケース

これまで輸入実績のある商品について、
当局より急に輸入不可と言われた。
原因が分からず対応できず困っていた。

弊社へ連絡いただき、急ぎ対応。
当局確認し、原因究明を行いまた然るべき対策を講じ、無事に通関できた。

※新規商品とは異なり、継続的な輸入商品は通関STOPするリスクは低いが、当局内部状況によりトラブルとなるケースもある。

これまでの経緯と対応

継続輸入している商品が、突然通関できないと言われ大混乱。弊社へ連絡が来た。

詳細確認し、急ぎ当局へ連絡。貨物STOPの原因究明開始。

当局内部のルール変更があり、追加資料が必要とのことで、詳細確認、連絡

当局の求める関連資料を準備し、通関代理業者と共に手続きを再開。

無事に通関手続きを経て、指定倉庫へ商品到着。

グリーンチャネルを活用した支援事例

▼その他支援事例

保税貿易に関する新規事業を社内検討中だが、政府とのルートを持っておらず、またどういった準備が必要か不明	保税区及び保税倉庫などに関する調査を開始。合わせてRCEPを活用した税制優遇メリットなども調査し、提示
○○商品は、現在日本から中国へ持ち込むことは可能か。輸入計画があり、事前に情報を得ておきたい	商品を特定した上で、事前の簡易的な輸入可否診断を実施。通関に必要な書類、手続きなどを提示。
商品点数が多い、また新規輸入も多く、毎回登録コードの確認作業が難しく、長年の大きな課題となり困っていた	弊社会員サービスにて、当局と確認を進めHSコードやCIQコードなど輸入に必要な情報収集が可能となった
先日口頭にて輸入可能であると確認したが、状況が変わるリスクを考え、事前に何かエビデンスが欲しい	独自のサービスとして、当局発行の証明書、許可証などを入手可能。輸入手続き時にエビデンスとして活用

ご清聴いただき、ありがとうございました。